

今月の題字写真 >>>

バイカウツギ

THE Y'S MEN'S CLUB OF OSAKA TOSABORI
OSAKA Y.M.C.A. CROSS CULTURAL CENTER
1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU, OSAKA, JAPAN, 550-0001
<http://osaka-tosabori.wix.com/tosaboriys>
CHARTERED JUNE 5th 1951



2019～2020 年度 工藤義正 会長主題

ALL HANDS FOR Y' sDOM !!

～ 総員配置に就き、役割を果たそう～

主題

- 国際会長 “Building today for a better tomorrow” (より良い明日のために今日を築く)
Jennifer Jones (オーストラリア)
- アジア太平洋地域会長 “Action!” 「アクション！」
田中 博之 (日本)
- 西日本区理事 “風となれ、ひかりとなれ”
“心豊かにあるために、輝くために” 戸所岩雄 (彦根シャトー)
- 中西部部長 “～為せば成る為さねば成らぬ何事も～”
掛谷太郎 (大阪茨木)

〈 評価と引継ぎ 〉

定めたゴールの達成度を評価し、次期へ繋がる形で正確に引継ぎをしよう。

戸所 岩雄 理事 (彦根シャトークラブ)

**強調
テーマ**

そればかりではなく、苦難をも誇りとします。わたしたちは知っているのです、
苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。

(ローマの信徒への手紙 5章3節)

聖句

新型コロナを乗り越えて

工藤 義正

2020年、東京オリンピックへの期待も膨らんだ冬の終わりから世の中は新型コロナウイルス一色に染まり、桜も楽しめないまま、春の記憶が飛び去り、気が付けばそこに夏がスタンバイといった近頃です。地震や津波、台風などとは全く異なる新型コロナの怖さを今回、改めて思い知らされました。本当に予期せぬ非常事態で土佐堀クラブにとっても3月以降の例会やIBCである台北中央クラブの40周年記念祝会訪問、そして区や部でも西日本区大会やその他多くの行事が中止になりましたが、それぞれ準備や対応に全力を尽くされたホストクラブの皆さんに心から感謝の気持ちをお伝えしたいです。

人類の歴史は疫病との闘いの歴史でもあり、ウイルスや細菌に耐え、折合いをつけながら生き延びてきました。ペスト、飛鳥・奈良時代の天然痘、幕末のコレラ、世界で大流行し日本でも数十万人が亡くなったといわれる100年前の「スペイン風邪」などの苦難の経験からも今回の対応に役立っています。

「三蜜」を回避し、感染を防ぐためにリモート会議が増えています。また、子ども達の授業やお店の接客までPCやタブレットなどを使い対応を進めています。今回、新型コロナが日本でのコミュニケーション方法の変化を加速したように思います。

土佐堀クラブの皆様、今期もあと一月になりましたが、クラブ運営にご協力いただきありがとうございます。来期も健康に気をつけて、新型コロナショックを乗り越え進みましょう。

報告者 ・ 福島 眞一

5 月 例 会 報 告

コロナウイルス感染症の感染予防のために3月例会も4月例会も中止になり、5月例会はラインのビデオ通話によるウェブでの開催になりました。出席者は工藤会長、岩原メン、岡野メン、奥田メン、川岸メン、小路連絡主事、丹吾メン、和田早苗メネットと私の9名になりました。もちろんゲストスピーカーも無しで、開会点鐘や食事無しで開催でした。

最初に工藤会長から6月例会について、YMCA 会館での開催の可否がYMCAから近々連絡があるので、できるようならゲスト無しでメンバースピーチでの開催を企画したいとの提案があった。プログラムはメンバー全員が3分間スピーチを行って、優秀なスピーカーは表彰することにしようとのことでした。

70周年記念事業については西クラブに合同開催を提案しているが、コロナウイルス感染症が落ち着いてから時期をずらしても進めていきますとのことでした。

日本語学科の留学生がアルバイトがなくて困っているのので何かできないかとの話があった。土佐堀クラブだけでは大きな事ができないので中西部での取り組みの方が良いのではないかと意見があった。情報量が少ないので工藤会長が情報収集をして来週の役員会議で再度打合せを行うことになった。

来期のクラブ運営についても打合せを行った。中西部の評議会の開催時期も今は決まっておらず、部長訪問の日程も決まっていないとの報告があった。来期の体制は4月のブリテン記載の通りであるが、方針については岩原次期会長が少し考えてから来週の役員会で発表するとの表明があった。

日 時： 2020年5月19日(火) 19:00~20:15

場 所： ラインのビデオ通話で開催

出席者： 工藤、岩原、岡野、奥田、川岸、小路、丹吾、福島、和田メネット

後半は、数人のメンバーから現状について発表があった。

小路連絡主事からはテレワークで働いています。OYISでは現在ウェブでの授業が行われていて、6月からは学校での授業も開始されるが、一部の保護者からは感染が心配だとの声もあり、ウェブと実授業の併用になるのではとの話があった。

岡野メンからは幼稚園は休園中で、1人で出かけて再開の準備をしています。

丹吾メンからはテレワークで働いています。

奥田メンからは元気にやっています。

最後に、工藤会長からの挨拶で無事終了しました。

なかなか会えない時期なので、皆さんの元気そうな顔を見ながらのおしゃべり例会も大変楽しかったです。



報告者 ・ 福島 眞一

5 月 役 員 会 報 告

【報告事項】

- 5月例会 報告
新型コロナウイルス感染防止のため中止。
ネットでラインミーティングを行った。8名参加。
- 新旧中西部評議会は6月27日、西日本区事務所とZOOMを使って行う予定。
- 第26回大阪YMCA国際チャリティーラン2020の第1回実行委員会はオンラインで6月3日19:00~20:30に行う予定。
- 会計報告 会費未納者がまだいるので早急に納付するように。
- 西日本区名簿14冊 東日本区名簿1冊を発注。届け先は工藤
- クラブでのY・サの担当が決まっていなかったため岩田ワイズに依頼した。
- 奥田ワイズから、土佐堀Yの地域奉仕活動委員会があり参加報告があった。
ただし、全てのイベントが延期または中止とのこと。
- 川岸ワイズから、YMCAの創立記念礼拝が5月30日AM10:00からオンラインで開催されるので、可能な方は参加されたい。

日 時： 2020年5月28日(火) 19:00~20:30

場 所： オンライン役員会、(当初はlineで、途中からはZoomで開催)

出席者： 工藤、奥田、川岸、小路、丹吾、福島、和田メネット

【協議事項】

- 6月例会について
日時：6月16日(火) 18:30 20:00
担当：A班 岡野、奥田、川岸、小路、灰谷、福島
YMCA会館は6月末まで閉館。
司会は福島 Zoomでの開催。詳細については、これから詰める。
- ブリテン6月号
近況報告はまだ集まってないのでぜひ投稿してください。
- 次年度クラブ運営について (岩原次期会長が欠席のため協議できなかった。) 次年度計画について 次年度例会 予定
- YMCA留学生支援の件
色々活発な意見交換ができた。
まずは、TOSファンドから20万円を大阪YMCAの留学生支援に献金する事が決まった。(早く支援できるように、工藤会長に一任)
中西部・中西部各クラブにも、活動の趣旨を説明の上支援の輪を広げていく。(この運動も工藤会長から掛谷中西部長・各クラブ会長に働きかける。)
- 70周年記念について：5月28日に大阪西クラブの役員会があるので西クラブでの協議が行われる。土佐堀クラブ実行委員長 岩原ワイズと西クラブ柿島実行委員長と湯浅次期会長とで協議を行って行く。21年秋開催という議論もあった。

5月例会出席者数		5月例会出席率		B F		ニコニコ		TOS ファンド	
メンバー	8名	会員例会出席者	8名	切手	234 pt	7-12月分	45,085円	7-12月分	31,100円
広義・功労会員	0名	メーカーキャップ	0名	現金	22,500 pt	2月分	7,400円	2月分	9,300円
メネット	1名	合計	0名						
コメント	0名	現会員数	14名						
ビジター・ゲスト	0名	出席率対象	10名						
出席者合計	9名	出席率	%	今期合計	22,734 pt	今期合計	52,485円	残高合計	1,464,331円

会員近況報告

・岩田 晋

コロナの感染状況は若干落ち着いて来たかな？と感じるようになった今日この頃ですが、まだまだ予断は許されませんね。第2波のことも囁かれています。先日の役員会はウェブ方式で開かれましたが、あいにくと京都の会社で税理士との諸打合せがあったため、ウェブ会には参加できませんでしたが、後日、メンバーの皆さんの映像を拝見し、安心しました。さて、この機会に自宅勤務ならぬ、書類やUSB整理などを進めています。USBの中にIBC訪問記録が44ページに亘る映像が残っていることに気が付きました。これは「大阪クラブ用」となっていて、土佐堀クラブが韓国IBCを訪問した過程などを大阪クラブの例会でお話したことが思い出されます。2009年の11月26～28日の三日間、灰谷メン、小森メン、工藤メン、北村メネット、岩田の5名によるIBC訪問団が済州国際空港を出発点とし、済州三多クラブ、大田ハンバットクラブのIBC2クラブを訪問し、私がソウル居住時、毎月の例会に顔を出していたソウル聖岩クラブの事務所、並びにソウルYMCA会館内にある韓国ワイズ協議会の事務所を見学するという超ハードスケジュールでした。フライトだけでなく、高速バスや列車、地下鉄などを乗り継ぐというのは勿論ですが、ワイズメンを支えるメネット達の活動状況を各地区のメネットから直接にレクチュアを受けるという方法は前代未聞でありながら、ワイズメンの活動に参考になる点が極めて多く、IBC歓迎特別例会と共に大いに意義あるIBC訪問となりました。(故小森メンに合掌！)



三多クラブのIBC歓迎は金泰成理事のクラブ公式訪問を兼ねて行われた。



ハンバットクラブのIBC歓迎は大田のレストランで。後列に日本人メネットの顔が



ソウルYMCA会館近くの食堂でうどんと寿司を



IBCではないがソウル聖岩クラブの事務所



韓国ワイズ協議会はソウルYMCA会館の5階に



韓国ワイズ協議会の事務局長全メンが歓迎の笑顔

故人となられた小森メンはIBCとの交流にことのほか気を遣っておられた。IBC交流は次世代にどんな形で続けられるのであろうか。USBを見る度に思う。

6月号は、3ページから5ページまで、会員近況報告(第2弾)です。

・今村 良子 特別メネット

お陽さまとみどりの風に誘われて今朝も目ざめ窓をあけると、うんぬ？この匂いは、どくだみ！。お隣さんが涼しいうちにと草刈りの真っ最中でした。いつでしたか早朝散歩のご夫妻から「それ戴けませんか？」と刈りとったどくだみの山を指して。「ど～ぞどうぞ」何でも煎じて干してお茶を楽しむとのことでした。五、六年つづいたでしょうか、ある時「長野の田舎に帰ります」とご挨拶がありました。花丈50cm、可愛い白い四弁の花びらとハートの葉っぱで今年も裏庭で頑張っています。お茶など化粧水など手づくりを楽しむ方はいらっしゃいませんか～

・岡野 泰和

緊急事態宣言も解除され休業要請も順次取り下げられてきたなか、私の携わっている幼稚園も6月から保育を開始することになりました。桜の木の花ではなく若葉が茂るなかでの入園式と始業式になります。まだまだウイルス感染が心配ななか、できる限りの予防策を準備しながら子どもたちの新しい生活を始めようとしています。再開の喜びとともに、不安や心配も渦巻く複雑な心境ですが、責任を果たせるように日々緊張して過ごしています。



・奥田 時夫

「屋上菜園」
5月末になると気温もぐんと上がり、一雨ごとに草花の成長も一段と速さを増し、結実を迎える準備を行っているともて取れます。昨年病気に倒れ動きが取れず、好きな花や野菜を植えることができなかったのですが、何とか昨年末には今春の楽しみとして、スナップエンドウの苗づくりとカンパニュラの苗の植え付けだけは済ませました。おかげさまで春にはスナップエンドウが思っていたより多く収穫ができ、5月にはカンパニュラも今までになく良い花が咲いています。今春に入り並行して植えたのが、ベビーキャロットやルッコラ、ラディッシュ、コリアンダー(パクチー)などで、すでに収穫を1度済ませ2回目の種まきをしているところです。またミニトマトやナスビ、キュウリ、ピーマン、シントウ、オクラ、バジル、珍しいところではロマネスクを植えすべて順調に育ち、まもなく収穫の時期を迎えることでしょう。植物は心をこめて育てると決して期待に反することはない(より良い花を咲かせてくれたり多くの収穫ができたり)ので、育てるにも一層の愛情が入ります。

・川岸 清、和田 早苗メネット

新型コロナ禍に伴う緊急事態宣言下で、毎日、出来るだけステイホームを守っています。特に私、川岸は高齢で病気持ちなので要注意。不要不急の外出は勿論してはいませんが、定期的な予約の通院は避けられません。採血・採尿による検査結果に基づいて主治医の診察を受け、処方された薬をもらって急ぎ帰宅するといった具合です。病院の待合にいるときは緊張です。過日も、感染予防の装備に身を固めた病院スタッフ数人が、これまた丁寧に防備された患者を乗せたベッドを押して通路を慌ただしく通過していきました。私たちは距離を置いたところに押しやられ、その場に一瞬、緊張が走りました。

日常生活に新しいルーティーンが入るようになりました。皆さんとの接触手段となったオンラインによるクラブ例会、役員会。オンラインによる交流は今のところ新鮮で、ようやく慣れて来つつあります。日曜ごとの教会礼拝もオンラインで行っています。教会には牧師と奏楽者のみが出席。私たちはPCの前に坐して、媒体を通じて流れてくる奏楽に合わせて賛美歌を歌い、祈りの言葉を唱和し、牧師の説教に耳を傾けます。

ご存知かと思いますが、4月24日から日本YMCA同盟によって「YMCA共同の祈り オンライン礼拝」というものが開始されました。全国のYMCA関係者がラインでつながり、共に祈ろうという企画です。我が家もこれに参加、5月8日には2回目が開催されました。隔週金曜日の18:00~18:30で、5月22日、6月12日というように計画されています。全国のワイズメン、YMCA仲間が元気なお顔で画面に出てこられるので大いに励まされます。皆さんも一度、参加してみてください。

一日でも早く、この厄介な事態が収束し、お互いFace to faceで健在を喜び合えることができるようになることを願っています。

・北村 詔四、京子メネット

(工藤会長から電話で近況を伺いました)

年なので、昔に比べビール飲む量は1/3. 食べる量は半分くらい減っていますが、コロナにかからないよう頑張っています。

運動不足になりがちなので、何とかゴルフもしながら健康維持に努めています。

・工藤 義正

例年でしたら、新緑の季節に奈良公園をウォーキングするのが楽しみでしたが、さすがにこの春は新型コロナで、出かける機会が激減しました。公園では毎年、ゴールデンウィークから小鹿が生まれ始めるのですが今年も世間の騒ぎなど関係なく、5月1日に最初の子が生まれたと、ニュースの発表がありました。

ゴルフコンペの中止や体を動かす機会が減って、体力の低下を防がなくては思っています。車に乗らずもって歩かなくては・・・

最新のグッドニュースは高校3年で運転免許を取って以来初めて **祝・ゴールド☆免許!**になりました。

・小坂井 義文

(工藤会長から電話で近況を伺いました)

元気です。緊急事態宣言が解除になり、梅田近辺の人通りは少し戻りつつあります。お店でお酒を出せるのが9時まで、営業が10時までなので、なかなか飲食街にはお客さんが戻ってきていないのが現状で、閉店を考えているお店も少なくないのが心配です。

・小路 清一

コロナ感染での緊急事態宣言も解除され、大阪でも6月1日(月)から学校でも部分的に開校されていきます。これまで毎日オンラインで授業をしてきたOYISも、6月から徐々に通学に戻そうということになりました。ただ、欧米系の家庭も一定数居て子供が通学することへの心配度合いが強く、約3割の保護者はオンライン授業を続けることを希望しています。ということで、最初の週は各学年週1日の分散登校+週4日のオンライン、2週から6月末まで週2日の登校+週3日のオンラインとなります。登校しないことを選んだ生徒のために学校の授業はZOOMなどで家と繋ぎ生徒は家から授業参加します。このようなハイブリッドなやり方で進め、6月末で今年度を終了します。

・只野 未来

緊急事態宣言は解除されましたが、まだ会社より外出自粛の解除がなされているので休みの日は家で過ごす日々が続いています。

そんな自粛生活ですが、現在我が家では『鬼滅の刃』が大流行してます。漫画を今出ている巻を大人買いし、母と2人、読破し、アニメも全話見、また漫画を読むの繰り返しをしています。我が家もやっと流行にのった感じです。みんなが面白いというのわかるような気がしました。どこが?と問われるとなかなか難しいですが笑

バレーボールも試合がことごとく中止になり、練習も夏ぐらいまで出来なさそうですが、そろそろ外でバスぐらいはしたいと思う今日この頃です。

・丹吾 礼

緊急事態宣言が解除されましたが、会社からは都道府県を越えての不要不急の外出は自粛するようにとのことで移動はできません。

YMCAの活動での会議でもZOOMを使ったWEB会議が増えてきました。伝えたいことが伝わっているか不安ですが、こういう機会でもないと新しいことに挑戦できないような気がします。



写真は弟と愛犬です(母にマスクと前掛けお揃いで作ってもらいました)

・灰谷 隅夫

(工藤会長から電話で近況を伺いました)

元気です。普段は自宅で末娘の夫婦と孫1人と共に過ごしています。本を読んだり、テレビを見たりして過ごしています。また、デイ・サービスの日は朝から夕方までお風呂のサービスや昼ご飯をいただきながら皆さんと談笑したりしてリラックスできるので楽しみです。

・福島 眞一

この5月は、4月と変わらず基本的には自宅にこもっています。4月のブリテンに載せた4冊の本を読み終えて、5月は新たに4冊の本を読んでいます。

1冊目は、

久坂部 羊著 “老乱” (朝日文庫)

認知症の老人のこころの動きがリアルに書かれていて、面白かったです。

2冊目は、

風良 ゆう著 “流浪の月” (東京創元社)

今年の本屋大賞受賞作。世の中の誰もが反対し批判するパートナーと一緒にいることが一番しっくりし心地よい、そんな関係を周囲の人たちを巻き込みながら、新しい旅立ちをしてゆく傑作です。

3冊目は、

萩原 浩著 “神様からの一言” (朝日文庫)

サラリーマン社会を描いた作品。

4冊目は、

小川 糸著 “ライオンのおやつ” (ポプラ社)

余命わずかな30代の女性がホスピスで人生を見つめ、穏やかな景色の中で本当にしたかったことを考える話で、まだ読みかけです。

先週の土曜日に県内なら出歩いても良いかなと考えて、須磨の海水浴場に行ってきました。5月の太陽がきらきら輝いて、良い気分転換になりました。



近況報告をお寄せくださった皆様、ありがとうございました。7月号も会員の近況報告を掲載します。6月23日(火)までにお送りください。

報告者 奥田時夫 川岸清

大阪YMCA創立記念礼拝 (創立138年)

大阪YMCAの創立記念の日は1882年6月4日です。

新型コロナウイルス感染症の影響により、今年度の大阪YMCA創立記念礼拝は、Yボランティアおよび教職員が大阪YMCA会館で一堂に集う礼拝は開催せず、WEB配信での創立記念礼拝が開催されました。

録画は、下記のアドレス、または大阪YMCAのWEBサイトのリンクからYouTubeで視聴できます。

<https://youtu.be/6pxlLQbuADE>

大阪YMCA 創立記念礼拝

日時: 2020年5月30日(土) 午前10時~10時30分

会場: 大阪YMCA会館(土佐堀会館)10階チャペル

==== 順序 ====

司会 (00:10) 大阪YMCA 会長 岩坂 二規

前奏 (02:00) 讃美歌 21 520 番「真実に清く生きたい」

聖書 (02:51) ペトロの手紙1 第4章7節~11節 司会者

祈禱 (04:08) 司会者

奨励 (06:34) 「YMCAの使命ー神様からの恵みの善い管理者を育むー」

日本聖公会大阪教区主教 磯 晴久 先生

祈禱 (18:42)

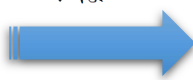
祝禱 (19:48)


後奏 (20:05) 頌栄 541 番

メッセージ(21:32): 大阪YMCA 総主事 小川健一郎

メッセージの中で小川総主事が紹介されたキャンペーンはこちらです。

#はなれていてもつながっている





いまこそ
#ポジティブネット

現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、私たちの活動の多くはオンラインで行われています。
 弊社は、世界中のYメンバーと協力して、人々の健康と安全を確保するために、このような状況下でもオンラインで活動することを推奨しています。
 皆様も、安全な方法で活動してください。
 安全、健康を第一。

安全のために、はなれていても
わたしたちはつながっています

ポジティブネットは、互いの健康や安全を確保し、活動のつなぐための、健康や安全を第一とする活動です。YMCAsの活動は、安全な方法で行われます。

日本YMCA同盟
 代表理事 日本YMCA同盟 1882年6月4日創立 138周年記念式典開催中

トントン・インタビューです

No.12

しょうじ
小路 清一さん

6月のトントンインタビューのゲストは土佐堀クラブで連絡主事をしている小路さんです。コロナウイルス感染症で活動が自粛している中でインターナショナルスクールがどんな授業をしているかを語っていただきました。

好きな言葉は何ですか？

好きな言葉は“一期一会”です。Once in a lifetime。最近、人を見て大概こんな人やろなと分かったつもりになりがちな自分に気が付くことが多くなり、イカンなと思っています。もっと新鮮みを持って出会いを大切に、人の奥行きだとか色などを感じられる自分でありたいです。

生駒市にお住まいですが、

大学時代の5年間以外は生駒で生活しています。今は止めています。昔からの農家です。

大学では何を学ばれたのですか。

信州大学の人文学部英語学科で、色々なことを広く浅く勉強しました。大学は長野県の松本市にあり、冬は-20℃なったりしました。学生時代はスキーも良くやりました。人生の中で一度は地方で住むのも良いことだと思っています。

就職先に YMCA を選ばれたのはなぜですか？

就職活動では、百貨店外商部や外資系企業に行ったりしていましたが、モラトリアムと言うのか企業人になるイメージがなかったです。普通の学校の先生になるのもイヤだったんですが、浪人生として通った YMCA 予備校の先生になれないかと思って YMCA に入りました。予備校の英語の先生をやれるのかと思っていたのですが、実はすぐになれなくて小・中学生に英語を教えることから始めました。土佐堀の専門学校の英語教員、IHS の主幹を経て今に到ります。

コロナウイルス感染症で大変なことになっていますが、OYIS の現状はどんなですか。

2月末から学校は閉まっています。その時から生徒は登校せず、Zoomなどを使って on line で授業をしています。朝から午後3:30頃まで、保護者のご協力も有り頑張って正式な授業をしています。体育や音楽などもビデオを見せて、それを生徒がして、そのビデオを録画で送り返したのを指導したりもあります。教員も stay home で学校には1~2名しか出勤していません。

今回もビデオ通話でインタビューをしました。コロナウイルス感染症で大変な OYIS の運営をどうやっているのか興味がありました。上手くできているようで安心しました。これからの土佐堀クラブと YMCA が手を携えてやっていくのに尽力して頂ければと思いました。

(ブリテン委員長 福島 眞一)

今の仕事 (OYIS) についてわかりやすく説明してください。

OYISでは事務長をやっています。幼稚園・小学校と中学校の校長2人を始め約40名の教職員で学校を切り盛りしています。私は予算・人事・全体管理などを行っています。生徒たちは20数カ国から集まっています。日本の学校と比べて行政の支援が少ないので学費は高いです。自営業の人も多いのでコロナウイルス感染症の影響がないかと心配しています。大きなホテルのシェフをやっている保護者から、来客がほとんど無いという話が聞こえてきています。

大阪市のバカロレアの公設民営学校の運営団体に YMCA が選ばれたときは、活躍されたと同いました。その時の秘話があれば教えてください。

公募があり4団体から選ばれました。プレゼン合戦で勝ち残ったことになりました。学校は、2週間前から on line で授業を開始しました。

YMCA の事がよく分かってないので教えて欲しいのですが、総主事・会長・理事長など色々な方がおられますが、どう違うのですか。

YMCAは法人としては4つあります。ウエルネスや宿泊業をやっている公益財団法人と、保育園や老人施設をやっている社会福祉法人と、学校法人が2つあります。法人の責任者が理事長です。大阪 YMCA 全体のトップが総主事です。そして、会長は Y のコアである社会教育・ボランティア団体としての YMCA の責任者です。

趣味にされていることは何ですか。

あまり趣味がない人です。一時期写真撮影にこっていましたが、今はできてないです。休みの日は田舎らしいところにドライブや散歩で行っています。

昨年の夏頃、奥さんの病気とお嬢さんの出産で大変だったと聞きましたが、奥さんのご加減はどうですか。

ご心配をお掛けしましたが、お陰様で家族は皆元気にやっています。孫娘は今日で丁度9ヶ月になりました。順調に成長しています。休みの日は娘に孫の世話を頼まれ忙しいです。

大阪土佐堀クラブの連絡主事になられて何年ですか。YMCA とワイズの関係についてのご意見を言ってください。

10年くらいです。途中1年くらい弁天町から中津に移ったヴェクセルクラブの連絡主事をやりました。YMCA も新しくなっているかなければなりませんが、新しいことに取り組むときにワイズにサポートしてもらえれば嬉しいと思います。

寄稿者 川岸 清

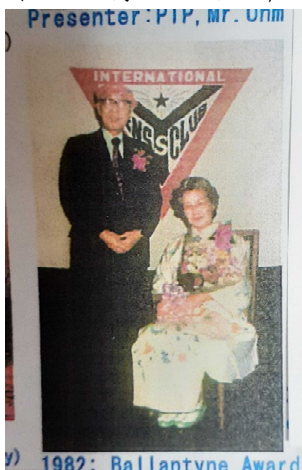
或る先輩ワイズメンの直筆原稿より（3）

前回は鈴木謙介氏の遺された直筆原稿によって彼の歩んだ足跡を知ることができました。今回は、その内容を振り返りながら、私なりに感じたこと、教えられたことをアトランダムに述べてみます。

コンパクトに記されたこの経歴からは、実業の世界で活躍しながらYMCAとY'sを愛し、精力的にそれらの発展・充実に注いだ同氏の情熱を感じることができます。同氏は、YMCAのスタッフになる道ではなく、レイパーソンとして実業界で勞しつつ、広い視野でYMCAと関わる中で「YMCAと社会への没我の奉仕」を学ぶことになりました。この生き方に大きく関わったのが、入社した株式会社「大丸」の社長・会長、里見純吉氏であり、もう一人は日本最初のワイズメンズクラブ（大阪）生みの親、奈良 傳氏でした。里見氏は実業界で大きな事業を展開しつつ大阪YMCAの理事長としても活躍、奈良氏は大阪YMCA総主事として16年間も日本のYMCA運動をリードしてこられました。鈴木氏はこれらお二人を生涯の師と仰いでおられたようです。

1932年に「大丸」入社から6年後の1938年、鈴木氏は中国に出向することになり、約9年間、家族と共に駐在しました。同じ頃、奈良氏が北京に赴任、北京日本YMCAを設立、続いて北京ワイズメンズクラブを設立されたのです。1940年、鈴木氏は北京クラブのチャーターメンバーとなりました。鈴木氏、28歳、ワイズメンとしてのスタートを切ったのです。それ以後、Biodata（経歴）には、「1947年 大阪クラブ会員」と、さらに書いてありますが、私のような戦前生まれの人間には「おっと、1945年の終戦時にはどうしておられたのかな？」との疑問が生じます。この部分について鈴木氏の愛娘、藤好基子さん（なかのしまクラブ）は次のように述べておられます。

「…北京より仕事で奥地に出向いていた父は、1945年のある日ひょっこりとぼろぼろの中国服を着て、徐州教会の牧師と、聖書だけ入った小袋を手に、家族の待っている北京に戻ってきました。…中国人に成りすまし北京まで困難な道は、多くの中国のクリスチャンの方に助けていただいたと聞いています。今の私たちには想像を超える道のりだったと思います。1946年、父は亡くなった長男の遺髪を抱き、母と兄弟を連れて最終の引揚船で日本に帰国しました。…」



1952年 9月～1953年
フォード財団・米各機関視察留学
謙介・39歳 美藤・36歳 基子・3歳 羽田空港

【参考資料】藤好基子さんの記録のほか以下の資料を参考にしました。

- ①「ワイズ必携—LTの為の副読本—」
- ②「日本ワイズメン運動70年史」 等

帰国後、1947年に大阪クラブに、そして1951年、同クラブ会長となります。クラブに於いても会社においても、まさに働き盛りでした。その中で鈴木氏にとってエポックメイキングとなったのは、フォード財団主催の若手事業者研修留学への参加です。YMCAレイパーソンの中から選ばれ、1952年9月から翌年2月までの半年間の留学でした。その間、彼はアメリカ国内各地のYMCA、デパート、大学その他各種機関を精力的に訪問、多くの学びを得ることができました。この経験に加え、在職中に30数回に及ぶ海外出張を重ねたキャリアが「国際人、鈴木謙介」を形成したのだと言えましょう。ワイズメンとしては、1958年、46歳で日本区理事となり、第2回アジア大会を主宰するという大役を果たしました。1965年、国際副会長、フレデリクトン（カナダ）やワシントンでの大会を経て、1975年、熱海での大会において遂に国際会長に就任されたのです。

熱海でのこの大会はアジアでの初めての大会でした。それは国際において単に参加することどまらず貢献することが日本区に求められた大会だったのです。国内的には、時代の流れの中で運動体から事業体へと傾斜しつつあるYMCAと、サポート団体であるワイズメンズクラブとの関係にも微妙な変化が生じつつあったのです。両者のパートナーシップに意を注いだ鈴木氏の思いが偲ばれます。

国際会長としての標語は『Encounter on the Y' smen' s Road（ワイズメン途上の出会い）』でした。この標語について彼はキリスト教の信仰に基づきながら次のように述べています。「…Encounterとは“出会い”である。…われわれの人生は出会いによって完成する。…国際大会は様々な討論の場であるが、同時にさまざまな場面での楽しい出会いの場でありたいと思う。たとえ言葉が異なろうと、目で、手で、笑顔で語り合おう。そして真の愛の輪を広げよう。…いつまでも絶えることのない愛である。」

“出会い”はまさに彼自身が経験したことでした。里見純吉氏、奈良傳氏を始め多くの人びとと、国内外で先輩後輩を問わず出会ってきました。その出会いを通じ、「いつまでも絶えることのない愛」が育まれたのです。藤好基子さん曰く、「一番の出会いには母、美藤に出会って結婚したことです。」「しかり、鈴木家にはお客、特に若い人のお客が絶え間なく、そのもてなしに美藤夫人がどんなに多くの愛とエネルギーを注いだことか、想像に余りあります。鈴木氏の出会いの延長線上には後輩の育成があります。わが土佐堀クラブ関係では、先輩、故今村一之氏も鈴木氏との出会いを経験された方です。今村氏曰く、「（あの標語は）歴代のIP（国際会長）の標語の中での秀作だと思います。」

1982年9月25日、大阪センテニアルクラブが誕生した。ボランティア賞を受賞したばかりの元IP鈴木謙介氏は大阪クラブから移籍し、書記の任に就いた。クラブでの最高齢、70歳であった。そのセンテニアルクラブがスポンサーとなり、1996年に女性だけのクラブ「なかのしまクラブ」が誕生する際、鈴木氏は藤好基子さんに「今だよ」と入会を後押しされたとのこと。「女性の進出を求める」との願いを抱いておられた鈴木氏にとって、女性だけのクラブに入会した藤好さんは、親孝行をされたのだと言えそうです。

(完)

2020

June

TOSABORI

MONTHLY MEETING PROGRAM

< 6月例会 >

日時：2020年6月16日(火) 19:00~21:00

会場：WEB (ZOOMでの開催を予定しています)

司会：福島眞一メン

担当：A班 (岡野、奥田、川岸、小路、中川、灰谷、福島)

- 1. 開会宣言・点鐘 工藤義正会長
2. ワイズソング 一 同
3. メネット紹介 司会者
4. 聖句朗読・メッセージ 奥田時夫メン

★今月は食事の時間はございません★

- 5. インフォメーション 福島眞一メン
6. YMCAニュース 小路清一連絡主事
7. メインプログラム

《3分間スピーチ大会》

- 8. アピール 参加者全員
9. 誕生日・結婚記念日 司会者 工藤義正会長

★3月、4月、5月、6月の

誕生日・結婚記念日の皆さんをお祝いたします★

- 10. YMCAの歌 一 同
11. 閉会宣言・点鐘 工藤義正会長
12. 歓談

※例会プログラムは、WEBで開催できるように、変更しています。

※歓談の時間をとっています。飲み物やおやつを用意して気軽に参加してください。



4日 工藤 義正
29日 福島 節子

今月の題字写真
福島メン提供
バイカウツギ

該当者なし

▽ 今後の予定 ▽

— 6月 —

- 13日(土)西日本区大会
16日(火)クラブ例会(19:00~)
23日(火)第二例会・役員会(18:30~)
23日(火)ブリテン委員会(19:30~)

開催中止
WEB例会を開催
WEB例会を開催
WEB委員会を開催

— 7月 —

- 21日(火)クラブ例会(18:30~)
28日(火)第二例会・役員会(18:30~)
28日(火)ブリテン委員会(19:30~)

土佐堀YMCA
土佐堀YMCA
土佐堀YMCA

6月 WEB 例会案内

5月WEB 例会はLINE のビデオ動画を使用、第二例会・役員会はLINE のビデオ動画とZOOM を使用して開催しました。引き続き、WEB 例会やブリテンの紙上での交流をしていきましょう。

6月WEB 例会、WEB 第二例会・役員会は定例の例会日に合わせて第3、第4 火曜日に行います。

PC やスマートフォン・タブレットをお持ちの会員は、ご参加ください。

★事前準備ができる方★ 別紙のとおり「ミーティング用 Zoom クライアント」をダウンロードして、サインアップし、名前の登録とカメラとマイクのテストをしておきましょう。Zoom 公式サイト https://Zoom.us/jp-jp/meetings.html

★当日★ 開催前に、URL の記載されたメールを送りますので、そちらへ入室してください。

- ①メールに記載されている URL をクリックする。初めて ZOOM を使用される場合は、ダウンロードが始まります。
②サインインし、ミーティングの ID と PW を聞かれたら入力してください。
③「コンピュータで参加」をクリックし、オーディオ・ビデオが使えるようにして入室してください。

YMCA ニュース

《お知らせ》

大阪 YMCA では、新型コロナウイルス感染症拡大への対策のため、不特定多数の方が参加されるすべてのイベント、プログラムおよび集会を当面の間、中止または延期いたします。

★第 326 回早天祈祷会★

日時…2020年6月19日(金) 7:30~8:30

証し…橋本 健 さん (大阪 YMCA 国際専門学校高等課程 表現・コミュニケーション学科主任)

場所…大阪 YMCA 会館 10 階チャペル

開催中止の場合がありますので
ご注意ください